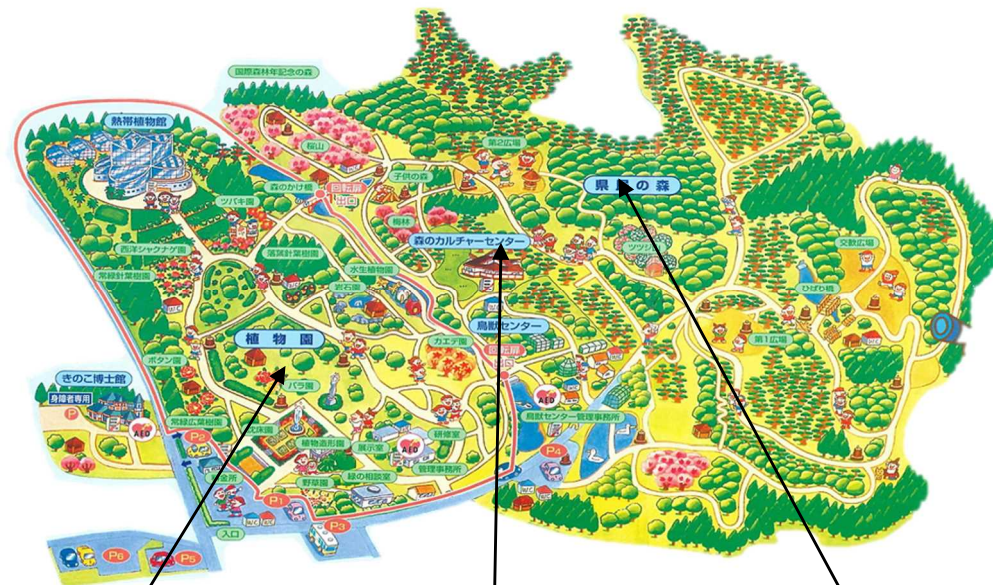


1 現状・課題

- 茨城県植物園及び県民の森は、県民が自然に親しみつつ休養し、自然に関して学習する場として県が設置した自然観察施設。
- 県民の森は、シニア層の手軽な散策コースとしての利用などにより利用者数は微増傾向にある一方、植物園については、施設の老朽化や類似施設の台頭等により、利用者数はピーク時の約23万8千人（H7）から約5万6千人（R4）と大幅に減少するなど低迷している。



植物園



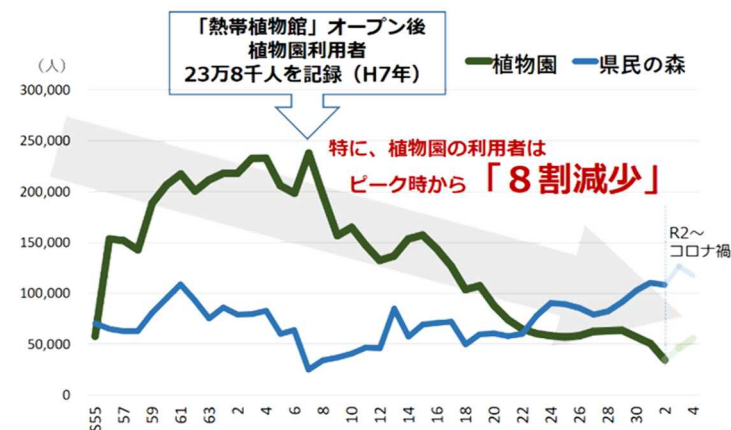
森のカルチャーセンター
(県民の森内)



県民の森

2 対応方針

- 施設の現状や利用状況を踏まえ、植物園等としての機能を活かしつつ、県内外からの集客を実現できる魅力あふれる施設への一新を図っていく。



3 基本計画の概要

■ 基本コンセプト

Botalassian Resort IBARAKI

緑に遊び、緑に包まれて眠る、日本初の泊まれる体験型植物園

- ▶ 日本で唯一の「泊まれる植物園」
- ▶ 日帰り・宿泊に対応した新しいリゾートへ再生
- ▶ 自然を感じながら、植物を学び・親しみながら、大人も子供も楽しい植物園に

ポテンシャルを最大限に活かした魅力あふれる施設へのリニューアルを図る

基本方針
リニューアルの

- ⇒ 植物園の機能は維持しつつ、“体験”や“宿泊”など、他の植物園にはない新たな機能を追加
- ⇒ 日常的に散策に利用している地域住民など、これまでの利用者にも配慮
- ⇒ 持続可能な県有施設とするため、採算性の向上により管理経費を削減

■ 主なコンテンツ一覧

(概算費用合計 約30億円)

▶ 施設整備

(単位：億円)

| コンテンツ | 概算費用 | 内 容 |
|-----------------------|------|---|
| エントランス棟 (ボタニカルゲート) | 1.4 | 日本最大級のボタニカルウォールで利用者を出迎え。宿泊受付、ラウンジ、物販等を内设。 |
| 宿泊施設 (コテージ・グランピング) | 4.0 | 特別感あふれる有名ガーデナーが造る庭付きコテージも設定。園内に45棟程度を整備。 |
| 温浴施設 | 11.3 | ボタニカルな雰囲気露天風呂や内湯、香り付きのセルフロウリュを楽しめるサウナも。 |
| レストラン | 1.1 | 広々としたガーデンに面する開放的なデザイン。ガーデンウェディングにも対応。 |
| バーベキュー場 | 0.6 | 緑あふれる植物園でのバーベキュー。食事作り+植物の学びを目的とした校外学習も。 |
| バナラドームカフェ | 0.2 | 熱帯植物館をバナラの香り溢れるカフェに。宿泊者限定の光の演出や体験メニューも。 |
| (その他) | 11.4 | (造成工事、付帯工事(上下水道、電気設備等)、アクティビティ設置) |

▶ アクティビティ

| コンテンツ | 内 容 |
|--------------|--|
| ツリーアドベンチャー | 県民の森にジップラインのほか、自然の木々を利用した樹上アクティビティを設置。 |
| ナイトライトアップ | 植物園とバナラドームをライトアップ。植物の幻想的な風景、泊まれる植物園の価値を生み出す。 |
| ボタニカルワークショップ | 森の恵みのリースづくり、木製カップづくり、どんぐりイベント体験などを常時開催。 |

■ スケジュール

2023年度
基本設計

2024年度
実施設計・施工

2025年4月頃
リニューアルオープン

■ 主なコンテンツ・施設配置図 (イメージ)

※施設配置は確定ではない。

■ ボタニカルワークショップ (森のカルチャーセンター)

■ 芝滑り

■ マウンテンバイク

■ 多目的ホール・本部管理棟

■ バーベキューエリア

■ 温浴エリア

■ ツリーアドベンチャー (ジップライン等 樹上アクティビティ)

■ エントランス棟 (ボタニカルゲート)

■ 駐車場

■ パークエリア

■ レストラン

■ グランピングエリア

■ コテージエリア

■ バニラドーム

■ バニラドーム前のコテージエリア

正面入口から望むボタニカルゲート

レストラン前のガーデン (奥は温浴棟のボタニカルウォール)